旬の話題をお届けします！

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

全肢長通信

会長　伴　光明
（都立あきる野学園）

令和５年度　第２号
（不定期発行）
令和５年６月２０日

全特長研究大会、全肢長総会・研究協議会　活況のうちに終了です！

令和５年６月１５日（木）東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに、全国の特別支援学校の校長先生が集まりました。**その数９００名超**、カルチャー棟の大ホールでは全員の方が収容できず、小ホールにも着席していただいてのスタートでした。早朝からお集まりいただいた皆様には、８時３５分の開場時刻をお守りいただき、ありがとうございました。

急遽の対応となった「セルフ受付」にも、御参加の校長先生方の御理解を得られ、それぞれの地区ごとの協力、連携で円滑に資料が行き届いたようでした。全特長の事務局はこの直前の変更にはそうとう心労があったようですので、**皆様に御協力いただいたことに本当に感謝**していました。

久々のオリセン集合に再開を喜ぶ校長先生、初めての参集開催でオンラインとは違うライブ感を味わった校長先生、そして今年から特別支援学校の校長となられて、全国組織の大きさを感じられた校長先生、さまざまな感想をおもちの初日であったと思います。

翌１６日は、全肢長の総会・研究協議会を行いました。私たちの会は小ホールに具合よく入る人数です。情報量が多く、手に汗を握る進行となってしまいました。各地の学校にお戻りになり、**カラー版の「総会資料」冊子を紐解きながら、一つ一つの情報を再確認して**いただければありがたいです。冊子の情報だけでは届かない、御来賓を始め運営に当たる理事や事務局の熱い意思を、参集型の大会の中で感じ取っていただければなおありがたいと思います。私は、拝聴していて菅野視学官の**肢体不自由教育にかける熱い思い**をひしひしと感じました。

同日午後は、今回の研究協議会の目玉企画である光明学園見学ツアーで大勢の校長先生方に参加していただきました。**最も古く最も新しい光明学園**の今を直接ご覧いただけたことは大きな刺激になったことと思います。

快くツアーを受け入れたいただいた島添聡統括校長先生を始め、御案内いただいた副校長先生、**同校スタッフの皆様に心より感謝**申し上げます。

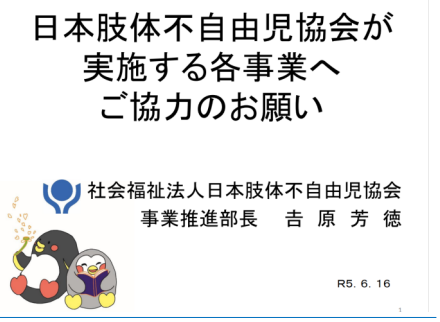
聞き逃してしまったあの情報がほしい！という方もあることでしょう。

ご安心ください。「全肢長ホームページ」には全肢長や関係団体発の情報が豊富に掲載してあります。

参加申込期限はいつ？研修会場はどこ？とお確かめいただいて、校内・外での周知にご活用ください！

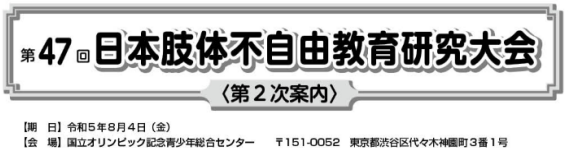
プレゼンカップ（未来を見通すコンテスト＝ミラコン）や**美術展**（コンピューターアートや書道の部門もあります）／**デジタル写真展**などは、**夏休みを使って製作する**児童・生徒も多いことでしょう。**今からの**計画、周知**が有効です！**

日本肢体不自由児協会；日肢協（にっしきょう）事業には、児童・生徒の活躍の場のみならず、教員や看護師などの**研修や顕彰**の機会も用意されています。



日本肢体不自由教育研究会；日肢研（にっしけん）では、**教育課程の理解や指導方法の開発・普及**の研究を進めています。機関誌の購読や研究大会への参加を通し、教員の専門性を高める機会が得られます。

こちらは東京を目的地とした宿泊行事への情報提供。



授業力向上シリーズ最新刊は№10。10冊セット販売のお申し込みは出版元のジアース教育新社へお問い合わせください。

授業力向上シリーズは新たに＜Season2＞の企画を鋭意進行させています。全国の校長先生方のおカを結集し、この教育の「今」を切り取っていきたいと考えています。おカ添えのほどよろしくお願いいたします！

発行：全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
事務局長：泉　愼一
（東京都立八王子東特別支援学校長）
Shinichi_Izumi@member.metro.tokyo.jp
TEL:042-646-8120　FAX:042-642-2197
〒192-0032　東京都八王子市石川町3246-1

研究協議会ではご案内できませんでしたが全肢P連（しぴれん）への御協力もよろしくお願いします。

しぴれん　検索